

## 市指定文化財<史跡>

### くめわかみやこふん 久米若宮古墳

指定日 昭和62年7月3日

所在地 菊池市泗水町豊水 久米一



大正7年(1918)に県の史跡調査が行われており、この時の記録によれば5世紀後半築造の円墳と推定される。封土の流失により石棺上部が露出し、蓋石が破壊されて棺内には土砂が堆積し、攪乱の跡がある。

屋根型の蓋石を有する組み合わせ式直埋め石棺であることが判明した。

棺の大きさは内法で長さ約173cm、幅約85cm、深さ約79cm、内面は全て朱で塗られていた。副葬品として轡が4個、刀剣破片が5個、鉄鎖様の物1個、鉄鏃数個、銅鏡1面、人歯が1本出土した。中でも銅鏡は、直径が8.3cmの方格T字鏡と呼ばれるもので、完全な形で出土したと記されている。

現地では今、石棺上に屋根をかぶせ、周囲には注連縄を張って保護策がとられている。